

(曾於市)

オンリーワン機械の開発で特許・実案取得して製造、販売、施工まで一貫して行い、日本全国はもとより海外にも販売する企業です。近年は食肉センタープラント工事に注力しています。

販売の主力は食肉生産機械です。創業当初から個々の機械の開発を続け、オリジナル機械は40種類を超えます。特許・実案の8割は食肉機械が占めます。近年は食肉プラントも受注し食肉センター全体も請け負っています。

海外にも10数カ国に輸出してきました。宮崎県に組立工場を建設し、食肉に次ぐ電子部品機械の大型化にも対応できるようにしました。電子部品生産機械は食肉に次ぐ販売額です。食肉と電子部品、冷間鍛造という敢えて真逆の業界の機械に携わってきたのは、景気の波を避ける目的です。



代表取締役 益留福一

会社概要

2024年2月1日現在

■所在地 〒899-8608
鹿児島県曾於市末吉町
南之郷3050-6

■代表者 代表取締役
益留福一

■設立 1990年(平成2年)4月

■TEL 0986-76-0018

■資本金 3,000万円

■FAX 0986-76-2729

■従業員数 58人

■E-Mail info@matoya.com

■事業概要 食肉機械開発、画像処理・ソフト開発、機械設計、電気制御設計、機械加工、組立、機械器具設置工事

■URL http://www.matoya.com

■主要製品 食肉生産機械、電子部品生産機械、冷間鍛造生産周辺機械

食肉プラント

食肉の副産物生産機械では日本のトップであると自負しています。しかし、この分野は食肉センターの設備の一部です。食肉センターの入札制度の中で、プラントとして全体設備を受注しないと副産物も受注できない仕組みです。このため数年前から全体の受注に向け戦略を立て、令和2年度に一号を受注し、現在四国で2号の工事が完成稼働中、奄美大島の食肉センター完成。宮崎県西都市のハラール食肉センターも完成しています。



食肉プラント

鶏肉のせせり切剥機

鶏肉のこにく(せせり)は人気の部位で希少部位です。現在、全て手作業で切り剥がしています。しかし、食鳥工場ではコロナ禍の中で外国人実習生の確保も思うに任せず、少子高齢化に因る作業者の減少は確実に労働力不足を招いています。せせりの切剥作業に従事している人は5~6万羽処理工場で10人程いますが、処理が追い付かずに廃棄している状況です。人手不足を補う機械を開発しました。人は機械にセットするだけで自動で切り剥がし、残りのガラは自動排出します。特許3件登録。



鶏肉のせせり切剥機

マルチマグネットローラーコンベア

自動車業界で多く使われているクーラント濾過搬送コンベアです。本体内に多数のマグネットローラーを配置、チェーンで駆動回転させています。大きい切粉は、ローラー上面で吸着され、微小な切粉は、このマグネットローラー間をクーラント液が通過するときに、マグネットで吸着され順次搬送されシュート側に搬出されます。一方、切粉を含まない濾過されたクーラントはフレーム底板のスリットよりタンクに還流されます。このコンベアを使うことにより、クーラントが濾過されて、加工精度も良くなり、タンクの清掃回数も激減します。納入実績は260台です。



マルチマグネットローラーコンベア